

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙



7月臨時会
9月定例会

No. 160

2022.11.4

令和4年9月21日撮影（根本寺）

令和4年第4回 議会臨時会 議案概要

議案第48号 工事請負契約の締結について ……【原案可決】

【契約内容】

1. 工事名：4 防安交道改第1号 道路改良工事
2. 工事場所：町道112号線 利根町大房地内
3. 契約方法：一般競争入札
4. 契約金：5,585万8千円（うち消費税：507万8千円）
5. 契約相手方：利根町加納新田2325番地 大竹重機建設株式会社

議案第49号 工事請負契約の締結について ……【原案可決】

【契約内容】

1. 工事名：3小建工第1号 小学校統合改修工事（エレベーター棟建設工事）
2. 工事場所：利根町布川4230番地（現布川小学校地内）
3. 契約方法：一般競争入札
4. 契約金：7,590万円（うち消費税：690万円）
5. 契約相手方：龍ヶ崎市4235番地11 櫻井建設工業株式会社

議案第50号 工事請負契約の締結について ……【原案可決】

【契約内容】

1. 工事名：4小建工第1号 布川小学校屋内運動場長寿命化改良工事
2. 工事場所：利根町布川4230番地（現布川小学校地内）
3. 契約方法：一般競争入札
4. 契約金：1億5,730万円（うち消費税：1,430万円）
5. 契約相手方：龍ヶ崎市2957番地 常磐建設株式会社

議案第51号 工事請負契約の締結について ……【原案可決】

【契約内容】

1. 工事名：令和4年度 利根町文化センターエレベーター設置工事
2. 工事場所：利根町文化センター
3. 契約方法：一般競争入札
4. 契約金：5,500万円（うち消費税：500万円）
5. 契約相手方：河内町金江津5107番地 細谷建設工業株式会社

議案第52号 工事請負契約の締結について ……【原案可決】

【契約内容】

1. 工事名：令和4年度 利根町図書館空調設備改修工事
2. 工事場所：利根町図書館
3. 契約方法：一般競争入札
4. 契約金：1億472万円（うち消費税：952万円）
5. 契約相手方：龍ヶ崎市川原代町5847番地7 増川建設株式会社

議案第53号 財産の取得について ……【原案可決】

【契約内容】

1. 取得する財産：小型動力消防ポンプ積載車3台
2. 取得金額：2,408万9,190円
3. 契約相手方：土浦市虫掛3314番地1 株式会社 土浦消防センター

議案第54号 令和4年度利根町一般会計補正予算（第4号） ……【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1,600万円を追加し、総額64億320万3千円とするものです。

討論

第4回臨時会に上程された議案に対し、下記の討論がありました。
(登壇順に記載しています)

〈議案第49号 工事請負契約の締結について(3小建工第1号 小学校統合 改修工事エレベーター棟建設工事)〉

反対討論

井原正光 議員

小学校統合のエレベーター棟建設工事(文化センターなど)について、業者が持ち回りで受注している。統合については、請願書も出ている。町長に出された要望書にも答えていない。住民の心に答えるべきです。

賛成討論

大越勇一 議員

今、反対討論で統合云々の話が出ましたがバリアフリー化をするのでエレベーターを設置すると、そういうことですので、私は賛成いたします。

賛成討論

山崎誠一郎 議員

利根町の条例では3,000万円以上の契約は一般競争入札であります。今回の契約も一般契約です。井原議員は悪意を持って、いつものように不正があるようなことを発言し町を混乱させたいのでしょうか。学校統合後の児童がバリアフリー化及びエレベーター設置により学校生活が快適に、怪我をしないように、障がい者の方も安全に学校生活ができることになることから、私はこの案件について賛成いたします。

賛成討論

若泉昌寿 議員

小学校3校の統合については既に町民の方々には何度となく説明しており、大方の方は理解し、一部の方が反対していることは知っております。今回のエレベーター棟建設工事に関しては、統合により児童数が多くなり、その中には足の不自由な児童もいると思います。誰もが良い環境の中で勉強ができることを願っており、エレベーターの設置についてもその一つだと思っておりますので私は賛成します。

〈議案第54号 令和4年度利根町一般会計補正予算(第4号)〉

反対討論

井原正光 議員

土地改良事業に1,600万円補正することに反対する。いろいろな課題を事業の中で、解決する方向性を示していない。消防署前の冠水など、この事業費でできる。道路がこうなる、農業は将来このようになるという、農地利用の方向性を示すべきです。

賛成討論

大越勇一 議員

基盤整備において、軟弱地盤があったとのこと。それを改良するのに何ら問題はないと思いますので、私はこの補正予算に賛成いたします。

令和4年第3回 議会定例会 議案概要

議案第55号 利根町地方創生応援基金条例……………【原案可決】

地域再生法に規定する「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に関連する寄附金を適正に管理し、当該事業の実施に必要な費用に充てるため条例を制定するものです。

議案第56号 利根町児童クラブの設置及び管理に関する条例……………【原案可決】

小学校統合後も、旧小学校となる場所を含め3か所に児童クラブを設置したいため、地方自治法第244条の2第1項の規定により条例を制定するものです。

議案第57号 利根町空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

利根町空家等対策協議会において、新たに文地区、布川地区、文間地区、東文間地区からの代表を委員とし、町内にある空家等の適正管理の充実を図るものです。

議案第58号 令和4年度利根町一般会計補正予算（第5号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ4億8,803万1千円を追加し、総額を68億9,123万4,000円とし、債務負担行為の追加及び廃止、地方債の変更をするものです。

議案第59号 令和4年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）……………【原案可決】

事業勘定予算額に歳入歳出それぞれ5,483万3千円を追加し、総額を21億5,184万1千円とし、また、診療所の施設勘定予算額に歳入歳出それぞれ2,083万5千円を追加し、総額を1億5,943万7千円とするものです。

議案第60号 令和4年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1,749万4千円を追加し、総額を3億25万9千円とするものです。

議案第61号 令和4年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第1号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ149万9千円を追加し、総額を3,201万8千円とするものです。

議案第62号 令和4年度利根町介護保険特別会計補正予算（第1号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ4,854万4千円を追加し、総額を16億6,779万円とするものです。

議案第63号 令和4年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ294万9千円を追加し、総額を1,608万7千円とするものです。

議案第64号 令和4年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ215万1千円を追加し、総額を5億8,198万5千円とするものです。

議案第65号 令和3年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件……………【認 定】

議案第66号 令和3年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件 ……【認 定】

議案第67号 令和3年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件 ……【認 定】

議案第68号 令和3年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件……………【認 定】

議案第69号 令和3年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件……………【認 定】

議案第70号 令和3年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件 ……【認 定】

議案第71号 令和3年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件 ……【認 定】

※議案第65号～議案第71号の詳細は、決算審査特別委員会のページをご参照ください。

委員会提出議案第2号 利根町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例 …………… **【原案可決】**

利根町議会議員の定数を現行の12人から11人に改めるものです。
※詳細は、委員会提出議案第2号のページを参照してください。

請願第2号 令和5年に予定されている小学校統合に関する請願書…………… **【不採択】**

※詳細は、請願第2号のページを参照してください。

議員提出議案第2号 コロナ禍、円安、原油価格・物価高騰、米価下落から農家を守るための対策強化を求める意見書提出の件 …… **【原案可決】**

※詳細は、議員提出議案第2号のページを参照してください。

討 論

上程された議案等に対し、下記の討論がありました。
(登壇順に記載しています。)

《 **議案第65号 令和3年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件** 》

反対討論

石 井 公 一 郎 議 員

町税13億円、人件費14億3千万円。町税で人件費が賄えない。この先も町税は減少すると思う。財政的に大変な状況、小学校統合事業で、布川小学校駐車場及びバスロータリー整備工事等がありました。文地区、文間地区の住民から、統合について、反対の声が多く聞かれました。町は、住民の声を聞くべきだと思います。なぜ統合をそんなに急ぐのか、議案第65号に反対いたします。

賛成討論

大 越 勇 一 議 員

子育て支援では、町独自の施策である、ひとり親世帯生活支援給付金事業や、町の主要道路である町道112号線の拡幅工事、町道1234号線(立木寺内地区)狭隘道路の道路改良工事が本格化しました。利根町営ドッグラン建設事業では、野外に新たなコミュニティ形成の場を提供することで地域経済に好循環をもたらしました。それら全ての事業の予算が適正かつ効率的に執行されていると確認しましたので議案第65号に賛成いたします。

反対討論

井 原 正 光 議 員

歳入で、町税が6,600万円予算に計上されず、地方交付税も4億8,000万円の大半が積み立てられ、次年度の財源になっている。この事は、住民福祉の向上に使われず不幸なこと。歳出では、統合に関し改修工事の設計委託費1,478万4千円で、次年度以降の莫大な経費が予想される。児童の減少も努力次第で増加も見込める。住民の声に答えていない決算に反対する。

賛成討論

若 泉 昌 寿 議 員

石井議員は、町税で人件費が賄えていないと言っていた。以前、住宅開発で人口が2万人になり町税も多くなったものの子供たちが成長とともに町から離れ、残るのは親の世代だけとなり町税は徐々に減少したため令和2年度からこの現象が起きているが、利根町に限らず地方の社会現象と捉えている。また、小学校統合準備として、それに付帯する工事や設計が行われている。決算認定に大いに賛成する。

反対討論

片山 啓 議員

人件費が急に増えている状況です。町長も町の財政状況は十分御承知だと思います。また、ここ数年の監査委員意見書にも、経常経費の削減が待ったなしだと記載されています。しかし一向に改善されておられません。これは監査委員に対しても非常に失礼なことで、こういう政治行政はやっぱり間違っていると思います。こういう決算に対して、私は賛成するわけにはいきませんので、反対いたします。

賛成討論

山崎 誠一郎 議員

令和3年度に定例議会及び各臨時議会において可決された案件が、議決案件にそって使用方法が逸脱していないか、法を犯すことなくしっかりと支出されていたかを審査するものである。適正との監査委員からも報告があった。委員会審議でも問題はなかった。反対の3人の議員は予算と決算をはき違えている。決算認定の案件である。何でも反対する3人の議員が議会の活性化等の議会改革の妨げとなっている。

決算審査特別委員会

令和3年度決算議案の審議は「決算審査特別委員会」を設置し、この特別委員会において慎重に審査され定例会の最終日に委員長から次のとおり委員会審査の経過及び結果の報告がありました。



<審査結果：委員長報告> 船川 京子 決算審査特別委員会委員長

本委員会は令和4年9月2日の本会議において設置され、「議案第65号令和3年度 利根町一般会計歳入歳出決算認定の件」から「議案第71号令和3年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件」までの7議案について付託されたものです。

決算審査特別委員会は、令和4年9月9日から9月14日までの土日を除く4日間、委員9名全員が出席しての開催。これに町長・教育長をはじめ各課長及び担当職員の出席のもと、積極的な質疑応答がなされ、長時間にわたり慎重なる審査を行いました。

議案第65号令和3年度利根町一般会計決算において賛否が分かれました。

議案第65号の討論はなく採決の結果は、反対が井原委員・石井委員・片山委員の3票。賛成が山崎委員・花嶋委員・大越委員・五十嵐委員・石山委員の5票。賛成多数で「認定」と可決しました。それ以外の特別会計決算については全会一致で可決しております。

各会計の決算額については別表のとおりです。

コロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響により物価が上昇しているため、財政運営も難しい局面を迎えていると思いますが、引き続き行財政改革を進め歳出抑制に努めていただきたいと思います。

付託された全議案について「認定すべきもの」として可決されております。

以上、会議規則第77条の規定により報告いたします。

令和3年度歳入歳出決算（一般会計・特別会計）

別表

(単位：円)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		7,025,382,199	6,747,619,610	277,762,589
特別会計	国民健康保険（事業）	2,121,182,051	2,043,950,146	77,231,905
	国民健康保険（施設）	160,721,806	127,934,547	32,787,259
	公共下水道事業	304,686,647	288,819,533	15,867,114
	町営霊園事業	8,212,927	6,446,341	1,766,586
	介護保険	1,613,963,843	1,565,829,997	48,133,846
	介護サービス事業	15,411,990	13,587,921	1,824,069
	後期高齢者医療	538,692,767	536,541,002	2,151,765

一般会計歳出の状況

【性質別】

(単位：千円、%)

区分	3年度決算額	構成比
人件費	1,436,347	21.3
物件費	908,620	13.5
維持補修費	78,218	1.1
扶助費	1,198,476	17.8
補助費等	852,541	12.6
投資的経費	527,703	7.8
災害復旧事業費	0	0.0
公債費	344,098	5.1
積立金	680,391	10.1
投資・出資・貸付	1,000	0.0
繰出金	720,226	10.7
合計	6,747,620	100.0

【目的別】

(単位：千円、%)

区分	3年度決算額	構成比
議会費	88,231	1.3
総務費	1,470,088	21.8
民生費	2,175,174	32.2
衛生費	642,723	9.5
農林水産業費	252,076	3.7
商工費	79,348	1.2
土木費	507,513	7.5
消防費	362,486	5.4
教育費	825,883	12.3
公債費	344,098	5.1
災害復旧費	0	0.0
合計	6,747,620	100.0

委員会提出議案第2号

利根町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（定数11）
賛成多数で可決!!

提出日：令和4年9月2日

提出者 利根町議会議員定数調査特別委員会 山崎 誠一郎 委員長

当委員会は、少子高齢化の進展に伴い人口減少が進む本町において、住民の意思を政治・行政に反映すべき議会の役割と責任を十分に果たしていくため、本町議会における適正な議員定数について調査すべく令和3年第4回利根町議会定例会最終日の12月10日に議長を除く全議員で構成し設置されたものです。

委員会協議は、会議を4回、町民の意見聴取会を1回開催しております。

まず、第1回目は令和4年1月19日に開催し、各委員の議員定数の考えについて意見交換を行いました。

次に、第2回目は令和4年2月21日に開催しております。なお、議会基本条例第16条に「議員の定数及び報酬の決定に当たっては、行財政改革の視点だけでなく、住民の意思の反映、町政の現状と課

題、将来の予測と展望を十分に考慮するものとする」とあることから、人口や面積など全国と同規模町村の定数についての調査と、町民の皆様のご意見を聴取する機会を設定し、前回の各委員の意見を踏まえ協議を行いました。

次に、第3回目は令和4年4月15日に開催しております。これまでの協議では、「本町は約1万5000という人口があるので、町民の声を行政に届けるためにも現状維持が望ましい」とする意見と「人口減少が続く本町では議員の定数を削減し、少数精鋭で活発な議会運営を目指すことが望ましい」とする意見に分かれました。こうした状況で令和4年6月25日に議会報告会の後に町民意見聴取会を開催しております。

この日、会場には85名を超えるご来場を頂いております。この意見聴取会では、様々なご意見を頂戴した訳ですが、「議員定数は現在の12名を維持するべき」とするご意見、「人口減少に伴い議員定数も見直し、少数精鋭で若い方に議員になってほしい」などのご意見をいただいておりますが、定数削減という意見の方が多くございました。

なお、この議会報告会と町民意見聴取会の様子はYouTubeにてライブ配信も行なっており、現在もアーカイブとして残っておりますので、町民の皆様も是非ご覧いただきたいと思っております。

次に第4回目の会議ですが、これまでの調査研究と意見聴取会を踏まえ、当委員会の意見を決定するため令和4年8月9日に開催しました。議員定数について採決の結果「定数12の現状維持が望ましい」とする意見が井原委員・石井委員・片山委員の3名と、「議員定数削減が望ましい」とする意見が、船川委員・若泉委員・五十嵐委員・花嶋委員・石山委員・大越副委員長の6名となり、当委員会の意見は「議員定数削減が望ましい」と決定しました。次に、議員の適正数について「10名が望ましい」or「11名が望ましい」かの採決を行いました。

採決の結果、「10名が望ましい」という意見は若泉委員1名で、その他の委員は「11名が望ましい」という意見となり、当委員会の最終意見は「議員の定数を11名にすることが望ましい」と決定いたしました。

これで当委員会は所期の目的は達成いたしましたので、調査終了とさせていただきます。

以上、利根町議会議員定数調査特別委員会の経過と結果の委員長報告とします。

賛成討論 大越勇一 議員

現在、利根町議会では2つの常任委員会がありますが、平成31年4月に改選され現在の議員構成になってから委員会活動が消極的になったと感じます。定数削減について当初、現行の12人でいいと考えていました。なぜなら委員会活動をするのに議員定数を削減すると支障が出ると考えていたからです。しかしながら現在のような委員会活動では、議員定数を削減しても、なんら問題がないと思っておりますので、この議案に賛成いたします。

賛成討論 若泉昌寿 議員

この一年間、活発な委員会活動は行われていない。今後、町の人口は減少していくので12人の議員数はいらぬ。以前の報酬等審議会で答申された通りに、町長及び議員の報酬が元に戻り、これで若い議員が多くなることに期待する。これからの利根町が元気で活発な街に戻るようお願いしたい。定数は10人で良いとすら考えている。

賛成討論 花嶋美清雄 議員

昨年12月議会での議員等報酬の引き上げには、反対の立場でした。社会情勢の困難や町の財政状況が厳しい中、私たち議員を削減することによって、歳出を減らし議員自身の資質の向上、それにより、一番重要な町等への緊密な繋がりが更に増えると思っております。町のため将来の子供たちのためにも議員定数の削減には賛成いたします。

賛成討論

五十嵐 辰 雄 議員

各自治体の定数の推移については、市町村の規模にかかわらず減少傾向です。議員の数を減らすことによって、住民の意思を政治・行政に反映されていないのではないかと。今日の情報化社会において、議員活動を真剣に取り組めば定数の多い少ないという短絡的な解釈は通用しません。時代の変化を先取りするため、町民のご意見を聞くため意見交換会を開催し、広くご意見を真摯に拝聴いたしました。町の将来を見据えて賛成討論とします。

反対討論

井 原 正 光 議員

我々議員の報酬引上げは、条例違反です。その都度特別報酬審議会からの答申を受けることになっています。人口が少なくなればなるほど、疲弊した地方の意見を議会の場で、行政に反映させることが議会だ。報酬を下げて議員を多くすることです。

請願第2号

「令和5年に予定されている小学校統合に関する請願書」 賛成少数で不採択

請願者：五十嵐 弘一 氏

紹介議員：井原 正光 議員

令和5年度に予定されている小学校統合問題に関する請願書

【請願要旨】

1. 令和5年に計画されている3校の小学校の統合を無期で一旦凍結する事。
2. 統合の理由及び、統合のメリットとデメリットについて町民が判断できる客観的かつ明確な教育学的根拠を全町民に提示する事。
3. 統合後の小学校における教育計画について、イメージではなく具体的な構想とその目的を明確にして町民に示す事。
4. 統合に関する最終的な費用の内訳を明示し、全ての町民が理解できる形で公開する事。
5. 町の施策が功を奏し人口減少が改善された場合のシミュレーションも行う事、またその結果を元に小学校統合の必要性について再度検討を行う事。
6. 小学校統合の目的やメリットとデメリットを全町民にしっかり提示した上で、小学校統合に関する全町民に対するアンケート調査をあらためて行う事。尚、アンケートの項目については、どちらともとれるような表現は使わず、町民が明確に意思を表明できる項目を設定する事。
7. 統合をした場合の防災計画について、統合先を3校それぞれにした場合と複合災害が起きた場合のシミュレーションも含め、保護者が安心できる具体的な避難計画・防災計画を再度検討し全ての町民に提示する事。
8. 統合によって児童が受ける精神的、肉体的なマイナス面について児童心理学等の有識者等を含め、客観的な情報と教育学的な理論、データに基づき検討を行う事。
9. 9回実施された利根町小中学校適正配置等調査検討委員会は町民から見て疑念が多すぎます。一般の町民代表や、統合賛成派だけではなく統合反対派も半数を加えた上で、あらためて調査検討委員会の開催を行う事。
10. この統合で目標・目的とする児童への教育的効果について、その内容を町民に具体的に示し、更にその効果検証の具体的な方法を町民に提示する事。
11. 上記を踏まえ統合基本方針をあらためて検討策定し町民に示す事。

12. これまで町は統合を決定した根拠を全く示していません。現在、町が把握している統合賛成者とは何名なのか具体的な人数を示していただく事、当請願に記したように多くの有識者が学校統合の弊害を示している中で、それでも町が統合こそが児童の教育上必要だと言う、その教育的な根拠は何かを全町民に示す事。

▽請願審査報告 厚生文教常任委員会 石井 公一郎 委員長

本委員会は、9月7日午後2時より委員全員出席のもと、慎重なる審査を行いました。

まず初めに、「請願第2号令和5年に予定されている小学校統合に関する請願書」について、会議規則第93条の規定により、紹介議員である井原正光議員に説明を求め、その後に12の請願項目ごとに、それぞれ質疑・採決を行いました。

請願項目3について石山委員から「請願説明にあるコミュニティスクールとは、文部科学省が使う意味のものか、あるいは世間一般に使われる用語として引用したものか」との質疑に対し、「利根町議会を傍聴している中で、石山議員がコミュニティスクールの説明をしていたので、それをイメージして引用した」との答弁がありました。また、請願項目7で、新井委員から「利根川と小貝川が合流するところが堤防としては一番弱いと言われている。さらに利根川の水害で言えば栗橋からおよそ7時間程度で利根町に到達すると予測できるため、あらかじめ避難することも可能と考えられるが、現布川小学校が防災面で児童の安全確保に疑問があるとする理由は」との質疑に、「東日本大震災の時に利根川河口4km～85kmの堤防に約250カ所に損傷が見られた。複合災害が起きた場合は、想定よりも早く堤防の決壊もあるかもしれない。ただ垂直避難すればよいと言うのは検討が不十分とし、この項目に入れた」との答弁がありました。

採決の結果は、12項目すべてが同じ結果で、採択とする委員は片山委員1名、不採択とする委員は新井委員、五十嵐委員、石山委員の3名、賛成少数により「不採択とすべきもの」と決定しました。

以上会議規則第94条の規定による報告とさせていただきます。



反対討論

大越 勇一 議員

請願者や紹介議員をはじめ小学校統合に反対している方々は、自分達の考えや都合で行動しており、なによりも小学校に通う子供達や保護者の目線で物事を考えていないと思います。地域のコミュニティーにおいても、統合後も校舎は残ります。その跡地を有効に活用し、それを地域のコミュニティーに繋ぐこと、そのためには、どうしたらいいのかを、皆さんで考えることが、大事なことです。以上のことから請願には反対いたします。

反対討論

山崎 誠一郎 議員

昨年3月に民主的な手続きを経て可決された案件である。本年3月の定例議会の請願でも否決されている。半年後に迫った統合に向け、関係者の皆様が一生懸命に諸問題に対しご努力されている。紹介議員の井原議員は、自分が町長時代に行った統合の際は手続きを踏まず強引に進めた町長である。その本人が今回は色々な理由を付けて統合に反対している。反対の皆さんを利用しているとは思えない。利用されない事を切に願うものである。

賛成討論

井原 正光 議員

一人の、個人として幼児でも外国人でも、何人でも請願することはできます。議会で決まったからではなく、町民が意見を述べる場所が請願です。統合の良し悪しでなく、住民の考えを取り上げて議論するのが議会です。執行部もよく考えてください。

議員提出議案第2号

コロナ禍、円安、原油価格・物価高騰、米価下落から農家を守るための対策強化を求める意見書提出の件 賛成多数で可決

提出日：令和4年9月16日

提出者：大越 勇一 議員

賛成者：若泉 昌寿 議員・五十嵐 辰雄 議員

山崎 誠一郎 議員

コロナ禍、円安、原油価格・物価高騰、米価下落から農家を守るための 対策強化を求める意見書

コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻に加え、急激な円安による輸入価格の上昇に伴い原油価格や物価の高騰により、米の生産コストが上昇するなどの影響が出ている。

一方、我が国では、人口減少等により米の消費が長期にわたって落ち込む中、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中食・外食など飲食業等の低迷から、米の需要は大きく減少し、それに伴い令和2年産及び令和3年産の米価格は大幅に下落した。これにより、米農家の多数は赤字生産となり米代金では家族労働費どころか農機具、肥料等の物財費さえ賄えないなど、米農家の自助努力では対応できない深刻な状況である。

今後も米の消費が増加することなく、米価が下落していくと、より一層農家の経営環境は厳しいものとなり、営農意欲の喪失や離農の増加が懸念されることから、国による米価を維持するための実効性のある対策が求められる。

よって、国におかれては農家を支えるため下記事項を迅速に講じられるよう強く要望する。

記

1. コロナ禍にある今、農家、地域経済、主食用米の安定供給を守るために、米価下落対策を早急に講じること。
2. 米価下落により減収となっている米の生産者に対し、持続可能な経営支援をすること。
3. 政府が過剰在庫米を買い取り、生活困窮者、学生、こども食堂などへ供給することや、農家の生活を安定させるための米価安定策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月16日

茨城県北相馬郡利根町議会

提出先：内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣



町政のここが聞きたい

一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 e スポーツ等を活用した町興しについて

答 継続して行える施設として調査していく **山崎 誠一郎 議員**

問 e スポーツとは「エレクトロニック・スポーツ」の略称で、すなわち電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームでの対戦をスポーツ競技として捉える際の名称の事です。このeスポーツの世界における発展はすさまじいものです。残念ながら日本は世界から見て立ち遅れていましたが、最近では国内においても若者を中心に、今後は市場規模も増え続けると予想され、更にここにきて国内の自治体や企業が、若者に対してeスポーツが最適な手段だと考え始め、eスポーツを活用しての町の活性化、町興し等にも取り組み始めています。また自治体による地域活性化への取り組みでは、若者が活躍でき誇れる町づくり、デジタル人材育成・ICT人材普及促進、少子高齢化による人口減少対策、地域コミュニティの活性化及びダイバーシティを実現する多様性が活用され様々なものに取り組んでいるようです。本

町も、小学校廃校跡地にこれから発展が期待されるeスポーツ、そしてオリンピック種目にもなったボルダリング・ロッククライミング及びスケートボードの競技施設を設置し、若者を呼び込むことで町の活性化及び町興しを提案しますが町の考えを伺います。

答 eスポーツは単なるゲームとしての枠を超え、教育分野、福祉分野及び地域間交流の場といった幅広い分野に活用できる可能性が見込まれている。教育分野では中・高生eスポーツ部の設立等。福祉分野では高齢者や障がい者の社会参加のきっかけづくり、楽しみながらのリハビリなど。地域間交流では年齢や性別に関係なく様々な層の方たちが集い交流することができることに注目している。これらで廃校跡地への若い世代の集客が期待できると考え、学校跡地検討委員会で検討を進めている。

問 未来ファームの埋立工事はいつ終るのか

答 県許可の発生土しか持込めないため未定 **若泉 昌寿 議員**

問 未来ファーム所有の土地は開発が始まって20年以上が経過している。その間、羽中やニュータウンの住民は大変迷惑を被っている。現在は埋立が行われているが、途中で中止したりハッキリしない。周辺住民は一日も早く埋立が終了し事業に専念してくれることを願っている。町としても業者に強く話していただきたい。

埋立が終わった時点でサツマイモ、ハーブを栽培すると聞いている。

問 小学校統合後の通学は、学校から1500m以内に自宅がある児童は徒歩通学、それ以外の児童はバス通学と聞いている。いずれも通学に関しては安心だが、帰宅後や休日等は気持ちが開放的になりやすく心配である。小学校統合後の児童の交通安全について伺う。

答 県の許可を得て羽中側の埋立を行っているが、発生土に関する工事が止まっており、埋立に使用する土が発生しないことから埋立が中断している。布川側の埋立も県の許可で事業を行っているが、許可上、別な場所からの発生土が指定されているため、今回発生した土は布川側にしか利用できないことから当該地の埋立を行っている。羽中側の埋立については現在未定とのこと。

答 事故の起きやすい場所を安全マップとして作成し、これとともに取手警察署が発行する啓発チラシを配布することで、保護者への周知を含め児童の交通安全確保を呼びかける。また、一番の課題として挙がるのが自転車に乗るときで、今後はヘルメットの着用率を上げることを力強く推進したい。

問 認知症対策の現状について

答 認知症に関する普及啓発をする

大越 勇 一 議員

問 世界に類を見ないスピードで高齢化が進む我が国において、認知症の人は、年々増加しています。団塊の世代800万人全員が75歳以上となる2025年には730万人に達し高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれています。

認知症は、今や誰でも発症する可能性があり、誰もが介護者となり得るため、認知症対策の推進は極めて重要であると考えます。本町で行っている、認知症対策の現状と課題、また今後の取組について伺います。

答 利根町の認知症対策の現状としましては、主に認知症に関する普及啓発、及び予防介入、認知症の人や家族を支える支援体制づくりのために役立つ様々な事業を実施してまいりました。主なものとして、認知症地域支援推進員の配置や、

認知症初期集中支援チームの設置などにより、相談業務の充実を図り、医療や介護関係者、民生委員、地域の方々と連携して、医療や介護の早期介入支援や、その方にあった自立した生活を支援しています。

認知症の普及啓発としては、認知症ケアパスの作成と活用などの情報発信、また地域の見守り体制づくりとして、一般町民や中学生や職域などを対象に、認知症サポーター養成講座を継続的に開催しております。認知症カフェや、介護者のつどいでは、認知症の人やその家族が参加し交流することで、直接支援をしています。課題と今後の取り組みとしては、認知症の普及啓発や支援は、まだ十分ではありませんので、今後も継続して事業の充実を図るとともに、認知症本人や家族の視点を反映した、暮らしやすい地域づくりを目指します。

問 災害時要支援者の個別避難計画の進捗は

答 早急に作成しなければと考えている

片山 啓 議員

問 介護タクシー、民間救急車を使用せざるを得ない場合、町としてどのような対応をしているか。また、介護施設ではなく病院に入院している方で転院をする場合の支援策は。

答 介護施設に入居されている方は原則として介護保険で賄っております。また、病院間の移動についての支援策は現状ないので、今後は検討してまいります。

問 国や県でも個別避難計画を早急に作成するよう要請していることから、町でも「いざ」の時に役立つよう早急に作成すべきだと思う。災害時の要支援者に対し、個別避難計画の進捗状況は。

答 災害時要支援者は、申請者数として約230名おられます。一人一人の避難行動には差がありますので、現在、県に先進事例の照会をしているところです。「いざ」の為に早急に作成しなければと考えて進める準備をしております。



一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 肥料価格高騰等による農業経営の支援策

答 化学肥料2割低減に取り組む農業者を対象 **五十嵐 辰 雄 議員**

問 農業・農村は、農業者や農村人口の著しい高齢化・減少という事態に直面しています。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に加え、ロシアによるウクライナ侵略等を背景として、農業は持続可能な農業構造に取り組まなければなりません。円安、政情不安により諸物価高騰の折農業生産材の値上がりは、比較にならないほど暴騰しています。報道によると、JA全農の肥料価格は輸入の尿素で94%、塩化カリウムで80%上昇するなど大幅な値上がりとなりました。農林水産省は、化学肥料2割低減に取り組む農業者を対象に肥料コスト上昇分を補填する支援策を含めた法律を施行しました。法律の具体的内容をお尋ねします。

答 「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」(みどりの食料シ

ステム法)が施行されました。国の方が環境負荷低減活動の促進の意義、目標等に関する基本的な方針を定め、この基本的方針に基づき都道府県と市町村が協力、連携し、協力して環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画を作成します。都道府県知事が実施計画を認定し、税制、金融措置により支援します。喫緊の課題として、国において、令和4年秋肥から令和5年春肥として購入した肥料を対象に、肥料価格の高騰による農家経営への影響を援助するため、化学肥料の2割低減の取組みを行う農業者に対し、肥料コスト上昇分の7割を支援します。支援対象者は、化学肥料使用量の2割低減に取り組む5戸以上の販売農家の農業者グループを対象とします。この2割低減するために、農業者の方に実施していただく取組みメニューが15個ほどあります。

問 小児の新型コロナ感染時の親の注意点は

答 ホームページで確認してください **井 原 正 光 議員**

問 小児の新型コロナ感染者が増加する中で、町の指導は。

答 感染者が増加しており、町内発熱外来の受け入れに限りがあり、近隣の医療機関を案内している。

問 RSウイルス感染症について。

答 警戒が必要で、町内の先生方と接種体制について相談しています。

問 小学校統合で親御さんは不安、疑問を持っています。

答 通学バス乗車時間は約25分くらいです。保護者からの問合せはメール等で行っているので全部の保護者とは共有さ

れていない。見守りは今後も協力をお願いしていく。バス停の位置等は9月に決定し保護者に通知します。災害時の避難については、早めに避難。児童の引渡しは、集中しない方法でスムーズにできるように考えている状況です。情報発信のあり方については、今後検討する。

問 跡地利用は学校があったよりも更に良い利用方法を見つけないと地域は衰退する。土地利用について考えるべきです。

答 廃校という言葉を使わず跡地という言葉を使い、東文間小のようにならないように住民の活動拠点、活用できる施設として説明している。

問 当町の地域社会デジタル化の取り組みは

答 デジタル技術活用を様々に進めている

石山 肖子 議員

問 利根町の自治体 DX、地域 DX の取り組みはどのように進んでいるか。

答 自治体 DX については国の支援策等を取りまとめた自治体 DX 推進計画が策定され、当町においても国の工程表に基づき準備を進めている。

地域 DX については、デジタル技術の活用を通して地域の市民生活や経済活動を変革することと言われており、地域の社会システムを再構築していくことを含んだ概念である。

町における地域社会のデジタル化の既存の事業は、住民生活分野ではウェブ上の「広報とね」、防災分野では利根町行政アプリでの防災情報のプッシュ通知、医療分野では取手医師会内の医療情報共有システム・新型コロナウイルスワクチン接種予約システム、介護分野では徘徊高齢者家族支援サービス、観光分野では利根町観光アプリ

「ぶらっとね」、教育分野では児童生徒へのタブレット配布による授業での調査・写真での記録・意見交流ソフト・学習支援ソフト・デジタル教科書、校務支援システムを導入している。デジタル人材育成ではテレワークで仕事を始めたい人向けのウェブ会議研修会を開催予定である。

問 教育 DX のなかで社会教育範疇の DX の取り組みは。

答 学校図書館システムを利根中学校に構築することを検討しており、利根町立図書館との連携も可能となるシステムの新規構築も検討している。



持続可能な開発目標 (SDGs) 3、4、8、11、16

問 児童通学用バス運行業務委託について

答 バス 13 台の業務委託契約予算を計上

花嶋 美清雄 議員

問 利根小学校への統合の進捗状況を伺う。

答 学校名称の決定、スクールバスの運行ルート、バス停乗降場所、校歌・校章、児童クラブの体制、利根小学校 P T A 会則、ジャージ体操服等決定している。また、エレベーター棟を建設し、エレベーター及びバリアフリートイレ整備及び昇降口の段差解消、ランチルームを普通教室に改修する工事など実施予定。令和 5 年 4 月の開校に向けて順調に進んでいる。

ている。統合準備委員会で報告し、その後「広報とね」でお知らせする。設置するバス停は、いずれも児童の自宅から最も遠いところで 500 メートル程度の範囲での設置を予定しており、児童の徒歩による負担を極力少なくする配置となっている。登校班については、これまでの登校班がベースとなる。

問 体育祭、学習発表会、プールの授業の進め方を伺う。

答 三つの小学校の伝統や特色を生かした行事になるよう調整を図る予定。近隣の施設を使ったプール授業についても、併せて検討している。実施時期等の問題があり、来年度の実施は難しいが、近隣市町村等から教育的な効果も含めて精査し、今後の検討課題とする。

問 登校班、バス通学の会議の内容を伺う。

答 事務局である学校教育課において作成したバスルートを検討いただき、準備委員会全体会で見直しを重ね、全体会議において最終的なルート案がほぼ決定し

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 バス通学する予定児童数、バス台数は

答 児童数は最大で260名、中型バス等13台 **石井 公一郎 議員**

問 バス通学する予定の児童数、使用するバスの台数、1台当たりの所要時間、バスの費用はいくらを予定しているのか伺います。

答 利根小学校にバス通学する児童は最大260名程度、バスは中型バス5台、マイクロバス8台の計13台、停留所は最大5カ所、最小で1カ所、バス1台当たり乗車する人数は最大で28名。最小で12名程度を想定しております。1台当たりの所要時間は最長で25分、最短で約6分、バスの費用は8,100万円ほどになります。

問 多くの児童がバス通学となって、いろいろな安全対策を取らなければならないと思いますが、どのような安全対策をとる予定なのかお聞かせ下さい。

答 各小学校の地域住民の方にご協力をいただいている見守りボランティア

問 小学校統合に向け今後の対応は

答 3校の児童の交流活動を予定

問 小学校統合に向け、スケジュール通り順調に進められていると聞いているが、子供たちの交流についての対応を伺う。

答 3校の児童で、地固め唄保存会の方との交流や、宿泊学習など全学年での交流活動を予定している。

問 文・文間児童クラブへの引き渡しをどのように行うのか伺う。

答 バスの乗降車時に、放課後児童支援員が一人一人確認を行う。また連絡帳アプリを導入し、関係機関や保護者が同時に利用児童の確認を行えるようにしていく。

問 万が一、水害等が発生した場合、子供たちの避難行動に対する対応を伺う。

に引き続きお願いする。バスを利用する児童については、二週間程度教育委員会職員がスクールバスに添乗します。児童がバス通学に順応できるようサポートしたい。

問 スクールバスの運行中の児童の乗り降りの確認、7月に県内で小学1年生の児童が寝過ごして、バス停以外のところで下車させ一時行方不明になる事件がありました。乗り降りの確認の方法はどうか。

答 新年度当初は教育委員会職員がスクールバスに添乗し、児童が降りるべき場所で降りるのかなど確認してまいります。また、県内で発生した児童を停留所以外の場所で降ろし児童が行方不明になった事件を踏まえ、バス業者にバスの添乗者名簿を渡し、バス停を過ぎても降りない児童がいた場合、必ず利根小に戻るよう徹底する。

船 川 京 子 議員

答 大規模な水害が想定される場合は、事前に休校等の措置を講じるなど、水害発生前の対応をしていく。

問 利根町地場産業推進協議会で製造する「利根のさくら姫」の生産目的と販売展開について伺う。

答 町のPR活動につなげる目的で生産し、令和5年4月から利根町社会福祉協議会での販売手続きを取っている。ふるさと納税の返礼品としても使用していく。

問 令和5年に稲敷龍ヶ崎地方3組合が統合・複合化し、新組合が設立された場合、ごみと資源の収集回収方法や金額など、町民サービスに影響はあるのか伺う。

答 新組合が設立した場合でも、今まで通りの方法で行い、統合により町民サービス低下等はないと聞いている。

議 会 活 動

第 72 回利根川治水同盟治水大会

令和 4 年 8 月 4 日（木）に埼玉県加須市で標記大会が開催されました。コロナ禍の影響により各町村 2 名限定の参加枠となったため、当町からは新井邦弘議長と船川京子副議長の 2 名の議員が出席しました。大会では講演をはじめ、令和 4 年度利根川治水の主要事業概要説明、意見発表、大会宣言・決議などが行なわれました。



(パストラルかぞ)



第 1 1 回議会報告会開催のお知らせ

利根町議会では、町民の皆様を開かれた議会を目指し「議会報告会」を開催しています。

議会報告会は、定例会・臨時会の議案審査内容の説明や議会活動状況を町民の皆様へ報告するとともに情報や意見の交換を行う場として開催するものです。

皆様からいただきました議会活動等に対するご意見等については、今後の議会運営等の参考とさせていただきます。

どなたでも参加できますので、皆様のご来場をお待ちしております。

ご来場の際は、ご自宅にて平熱であることを確認の上、マスクを着用してお越しく下さい。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止することもあります。予めご了承ください。

▽日 時：令和 5 年 2 月 4 日（土） 午後 1 時 30 分～

▽場 所：利根町文化センター 多目的ホール



利根町議会日誌（令和4年7・8・9月）

活動内容	
7月	
3	河内町議会報告会視察
4	令和4年第2回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会／全員協議会
6	令和4年第3回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会全員協議会
7	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
8	令和4年度利根町文化協会理事会総会
13	議会運営委員会
〃	令和4年第4回臨時議会
〃	全員協議会
14	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会行政視察（～15日）
15	広報編集委員会
19	令和4年度利根町防犯連絡員協議会総会
22	令和4年度茨城県稲敷地方航空騒音公害対策協議会定期総会
〃	令和4年度県南町村会定期総会
28	第27回利根町自治基本条例検討委員会
〃	令和4年第2回茨城県南水道企業団議会定例会
29	令和4年度成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会（JR東日本への要望活動）
8月	
4	第72回利根川治水同盟治水大会
5	令和4年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会臨時会／議会運営委員会／全員協議会

活動内容	
8月	
9	利根町議会議員定数調査特別委員会
〃	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
10	令和4年第4回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会全員協議会
〃	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会
19	利根町戦没者追悼式式典
20	第45回利根町民納涼花火大会
22	学校跡地利活用及び利根町みんなのまち基本条例に関する説明会
24	令和4年第1回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会臨時会
〃	県南町村議会議長会
29	議会運営委員会
30	令和4年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
9月	
2	令和4年第3回議会定例会（～16日）
7	厚生文教常任委員会
21	法務大臣表敬訪問（県南町村議会議長会）
25	利根町敬老会
〃	二所ノ関部屋千種楽祝賀会
28	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
〃	令和4年第5回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会全員協議会
29	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会
30	利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する説明会

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

第4回臨時会（7/13）の傍聴者数は、1名

第3回定例会の傍聴者数は、延べ40名でした。

※本会議の様子をYouTubeで配信しています。

こちらから⇒

利根町公式ホームページからアクセスできますので、是非チャンネル登録をしてご覧ください。これまでライブ配信したものもご覧いただけます。

○次回の定例会は、令和4年12月13日（火）から開催する予定です。



町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は「利根町議会会議録」をご利用ください。

こちらから⇒

利根町議会会議録は、図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

